

動物実験計画書

申請区分

- 新規申請(関連計画書があれば、承認番号を入力して検索してください)
- 変更申請(変更対象計画書の承認番号を入力して検索してください)
- 更新申請(2025年9月30日まで承認されている動物実験を更新して行う場合は、こちらを選択してください。)

提出日

2025/04/10

(1) 研究責任者 (動物実験を含んだ研究全体の責任者：所属長（教授またはセンター長あるいはそれらの代行者）)

所属

医学部

職名

教授

氏名

氏名を入力してください。

連絡先

内線を入力してください。

Email

e-mailを入力してください。

(2) 動物実験責任者 (申請する動物実験の責任者、動物実験講習会の受講が必須、動物実験関連の書類提出者) (分担者は後述)

所属

医学部

職名

教授

**氏名**

氏名を入力してください。

連絡先

内線を入力してください。

Email

e-mailを入力してください。

動物実験の経験

- ある
 ない

動物実験講習会の受講

受講日

- 藤田医科大学動物実験規程を熟知しました
- 本実験に関する法規を熟知しました
- 承認期間中年度毎に動物実験継続届を提出します
- 研究が終了した場合、動物実験実施報告書を提出します
- 申請内容を変更する場合は、事前に動物実験計画書の変更申請を提出します

クリア

下書き保存

申請中止

次へ

(3) 研究課題

研究課題

英名研究課題(共同研究等のために、英名研究課題が必要な場合は記載ください)

(4) 研究目的(本研究の必要性と科学・医学・社会における意義を400文字程度で記載ください。参考例1 (<https://drive.google.com/file/d/1KuEkOWnOCKWjVdRTzfKN8KZIPBtlwSv/view>))

(5) 研究方法の概要(動物に対する実験手法を中心に全体の流れが分かるように記載ください。また、研究に使用する動物の総使用匹数（自家繁殖分を除く）およびその根拠を必ず記載ください。参考例2 (<https://drive.google.com/file/d/1Z0uSqQKNcXMU5xd9XGOfD9LTnF1e4ucP/view>)を参考に800文字程度で記載ください。)

【手術処置内容や投与の詳細については、PAGE5に記載する】

【苦痛軽減方法、安楽死方法については、PAGE6 に記載する】

(6) 実験実施期間

承認日～

2028/03/31

クリア

下書き保存

申請中止

次へ

(7) 動物実験の種類 A)-C)に該当するものを選んでください。

A)試験・研究

本研究が動物実験の不要な繰り返しにならないように検討しました

Pub Med

医学中央雑誌

その他

その他の内容

in vitroの実験系および系統発生的に下位の動物種への置き換え（代替）が可能か検討しましたが、代替法がないものと考えます

より侵襲性の低い動物実験方法への代替が可能か検討しましたが、代替手段の感度・精度が不十分であると考えます

検討した代替法（Replacement）を記載し、代替法がないあるいは不十分である理由を記載ください。

B)教育訓練

本教育訓練の前に、動物を使用しない訓練（講義、ビデオやDVD等）を行いました

その他

その他の内容

C)その他(具体的に記述してください)

(8) 実験動物について

※異なる動物種や動物実験時（開始時）の齢を使用する場合は各動物種と齢について記載ください

1) 動物種：該当する項目を選んでください

マウス

- ラット
- モルモット
- ウサギ
- その他

他の内容

2) 系統名(遺伝子組換え動物（ノックアウト・トランスジェニック・その他）の場合は、その旨と外来遺伝子情報を系統毎に記載ください。)

ファイル添付

3) 遺伝的品質：該当する項目を選んでください

- 近交
- クローズドコロニー
- その他

他の内容

4) 微生物的品質：該当する項目を選んでください

- S P F
- コンベンショナル
- その他

他の内容

5) 入手方法：A)からC)で該当する項目を選んでください

- A) 購入

i) 繁殖業者

- JAX Japan
- クレア
- エスエルシー
- その他

他の内容

上記3大繁殖業者以外から購入する場合は、ヘルスレポートが必要です。

- ヘルスレポート提出済み
- ヘルスレポート未提出

ii) その後、自家繁殖しますか？

はい「(C)も記入してください」

いいえ

B) 謾受

i) ヘルスレポートの提出

提出済み

未提出

ii) その後、自家繁殖しますか？

はい「(C)も記入してください」

いいえ

C) 自家繁殖

i) 系統維持・実験繁殖規模(ペア数)

ペア数を入力

ii) 実験に使用する動物の作出に必要な繁殖規模の妥当性：参考例3 (https://drive.google.com/file/d/1Qpzo-hWcE2_WTKsolJAf8g5Bc-VWEqzl/view)

実験に使用する遺伝子型の確率（例：ヘテロ同士の交配によりホモが得られる確率は1/4）

性別

平均産子数

実験群に必要な匹数

6) その他の特記事項

7) 動物実験開始時の齢

胎齢

実験動物について(追加入力1)

クリア

下書き保存

申請中止

次へ

(9) 人体や環境に対する危険因子と麻薬及び向精神薬

1) 化学的危険因子を使用しますか(有害化学物質承認番号を入力後、確認ボタンを押してリンクさせてください)

はい

有害化学物質承認番号

確認

有害化学物質承認番号

確認

有害化学物質承認番号

確認

どんな危険ですか

発癌物質

その他

薬物名

いいえ

2) 生物学的危険因子を使用しますか(感染動物実験承認番号を入力後、確認ボタンを押してリンクさせてください)

はい

感染動物実験承認番号

確認

感染動物実験承認番号

確認

感染動物実験承認番号

確認

いいえ

3) 遺伝子組換え生物を使用しますか(組換えDNA実験計画書の受付番号を入力後、確認ボタンを押してリンクさせてください。承認後、承認番号を変更申請書にて申請してください)

はい

組換えDNA実験計画書の承認番号

確認

有効期限

組換えDNA実験計画書の承認番号

確認

有効期限

組換えDNA実験計画書の承認番号

確認

有効期限

3件以上組換えDNA実験計画書があるので、承認番号と有効期限を記載したPDFを添付します。

 はい いいえ

ファイル添付

P2Aが含まれますか？

 はい いいえ いいえ**4) 麻薬及び向精神薬取締法を理解し、麻薬（ケタミン等）を使用しますか**

枠内に麻薬研究者免許番号を医安 第XXXXXX号の様に記載ください(瀬保 第XXXXXX号は麻薬施用者免許番号なので動物実験の際には不適格です)また、免許をPDFにして添付ください

 はい

麻薬研究者免許番号

有効期限

ファイル添付

麻薬は専用の金庫に保管し、麻薬管理簿

(https://drive.google.com/file/d/1wLLrWSy12_8kawRVUDXuX3CaN2TtOvxu/view?usp=sharing) (テンプレート)
を作成していますか。

- はい
- いいえ
- いいえ

5) 麻薬及び向精神薬取締法を理解し、向精神薬（バルビツール酸誘導体、ミダゾラム等）を使用しますか

- はい

鍵付薬品庫等で保管し、向精神薬管理簿 (https://drive.google.com/file/d/1Jn3HNa8PPac8uG8h1zacjvv_T6F-I7oH/view?usp=sharing) (テンプレート) を作成していますか

- はい

- いいえ

- いいえ

6) 特定外来生物(ウシガエル等) を使用しますか

- はい

特定外来生物許可番号

有効期限（開始）

有効期限（終了）

- いいえ

7) その他（覚せい剤等、使用の際免許が必要な薬剤等）**(10) 動物実験の場所****実験場所はどこですか**

- 病態モデル先端医学研究センター（小動物室含む）

- サテライト

- その他(24時間未満保管の場合) (動物実験室承認番号を入力後、確認ボタンを押してリンクさせてください)

動物実験室承認番号

確認

動物実験室承認番号

確認

動物実験室承認番号

確認

(1 1) 飼養の場所

動物の飼養を行いますか

はい

飼養場所は

病態モデル先端医学研究センター（小動物室含む）

サテライト

その他(24時間以上飼養の場合)(実験動物飼育室承認番号を入力後、確認ボタンを押してリンクさせてください)

実験動物飼育室承認番号

確認

実験動物飼育室承認番号

確認

実験動物飼育室承認番号

確認

いいえ

クリア

下書き保存

申請中止

次へ

(12) マウスに対する具体的実験処置等 (苦痛のカテゴリー)

(https://drive.google.com/file/d/1f1C_me72CI8JxvTkf1LDab08zDxWLXMh/view?usp=sharing)はこちらを参照)

1) 疾患モデル動物の種類を選択し、その特徴（実験期間中の苦痛のカテゴリー含む）およびその動物を選んだ理由を記載ください（参考例4）

(<https://drive.google.com/file/d/1ZY5IkB7s5HS9O0NcmKXwgxtib9DrSInE/view>)（複数の場合はそれぞれの疾患について）。最重篤なカテゴリーを右横のマスから選択ください。

自然発症モデル

苦痛のカテゴリー 

疾患の名称（苦痛のカテゴリー）

遺伝子組換えモデル

疾患の名称（苦痛のカテゴリー）

疾患誘発モデル

疾患の名称（苦痛のカテゴリー）

正常動物を使用します

2) マウスに対する簡単な手技について：行う手技を選んでください。

する

苦痛のカテゴリー 

しない

保定する

固定する

体重測定

耳パンチ

技術は習得

した

していない

研究方法との関連性が分かるように簡単な手技に関する処置内容を記載ください：参考例5

(<https://drive.google.com/file/d/15thPwjWoA9wCRLiLsT1vChYde3pOapo6/view>)

a

3) 投与・注入について 推奨投与容量 (<https://drive.google.com/file/d/1Sg4RO5ZJTW8fIAxfeDTVHS-Bt3jvrCDm/view>)

する

苦痛のカテゴリー

しない

投与・注入手技の習得

した

していない

i)投与・注入方法

経口

1回の投与・注入量(ml)

頻度

実験を通して1回のみ

複数回実施

回

日

週

月

皮下・皮内

1回の投与・注入量(ml)

頻度

実験を通して1回のみ

複数回実施

回

日

週

月

筋肉内

1回の投与・注入量(ml)

頻度

実験を通して1回のみ

複数回実施

回

日

週

月

腹腔

1回の投与・注入量(ml)

頻度

実験を通して1回のみ

複数回実施

回

日

週

月

血管内

1回の投与・注入量(ml)

頻度

実験を通して1回のみ

複数回実施

回

日

週

月

その他

ii)投与・注入による動物の苦痛

ある

苦痛軽減方法

苦痛軽減方法

- ない

研究方法との関連性が分かるように投与・注入に関する処置内容を記載ください：参考例6
(<https://drive.google.com/file/d/11kGT6TjDp3N6NdgnPUKLQTlz3ZMIwk-d/view>)

4) 負荷試験を行いますか

苦痛のカテゴリー

- する

- しない

研究方法との関連性が分かるように負荷試験に関する処置内容を記載ください：参考例7
(<https://drive.google.com/file/d/1MmXMsOE1CacgiWZu0i6Uo2COgpPwAlSh/view>)

5) 納餌制限・給水制限

i) 納餌制限

苦痛のカテゴリー

- する

- しない

科学的根拠

科学的根拠

最低必要量の飼料が摂取できるように計画

- する

- しない

理由

ii) 納水制限

- する

- しない

科学的根拠

科学的根拠

最低必要量の飼料が摂取できるように計画

- する
- しない

理由

脱水症状をモニターしますか

- する
- しない

その場合の指標は

- 生理的/行動指標
- 体重測定
- その他

理由

研究方法との関連性が分かるように給餌制限・給水制限に関する処置内容を記載ください：参考例8
(<https://drive.google.com/file/d/1bBxwLb4KprC7R28DJ5HiR2L4OwLZTXH-/view>)

6) 麻酔下で材料の採取(生検)はしますか（安楽死後の材料採取を除く）

- する
- しない

苦痛のカテゴリー



採取手技の習得はしましたか

- した
- していない

研究方法との関連性が分かるように材料の採取（生検）に関する処置内容（使用する麻酔薬含む）を記載ください：参考例9 (https://drive.google.com/file/d/141y3fwyQ0tEd_uTvsWE9n747Dsnd-m5u/view)

--

7) 一部採血をしますか

する

しない

苦痛のカテゴリー



(適切な採血量の一覧 (<https://drive.google.com/file/d/1QNgHHokqNV0ASNLd7Qv37BewzCqtKVy-/view?usp=sharing>)はこちらを参照)

採取手技の習得はしましたか

した

していない

i) 採血方法

尾静脈

1回の採血量(ml)

頻度

実験を通して1回のみ

複数回実施

回

日

週

月

耳静脈

1回の採血量(ml)

頻度

実験を通して1回のみ

複数回実施

回

日

週

月

心臓

1回の採血量(ml)

頻度

 実験を通して1回のみ 複数回実施

回

 日 週 月 その他

頻度

 実験を通して1回のみ 複数回実施

回

 日 週 月

ii) 採血による動物の苦痛

 ある

苦痛軽減方法

苦痛軽減方法

 ない

研究方法との関連性が分かるように一部採血に関する処置内容を記載ください：参考例10

(https://drive.google.com/file/d/1v7t-4--LDG9-nxE84ko0MjOnp7dVHnpb/view)

8) 移植、手術（外科的処置）その他の医療的行為

 する しない

苦痛のカテゴリー



i) 大規模な存命手術（この際行う傷口の縫合を含む）をしますか

- する
- しない

ii) 傷口の縫合のみもしくは小規模な存命手術をしますか

- する
- しない

iii) その他の外科的処置をしますか

- する
- しない

研究方法との関連性が分かるように移植、手術、その他の医療行為に関する処置内容（使用する麻酔薬含む）を記載ください：参考例11 (<https://drive.google.com/file/d/1KNeoSyFuXydkq8HqIRzk3GMOw4-Woqeo/view>)

9) その他の処置（行動解析等）

研究方法との関連性が分かるようにその他に関する処置内容を記載ください：参考 苦痛のカテゴリー

例12 (<https://drive.google.com/file/d/1E9WYnYjJmXu6PzJZVdfnp7Tpz4atTJ81/view>)

に対する具体的実験処置等（追加入力1）

クリア

下書き保存

申請中止

次へ

(13) マウスの苦痛軽減法

苦痛軽減方法についての説明および理由

- 軽微な苦痛の範囲なので特に措置を講じなくてよい
- 短期間の保定・拘束なので特に問題はない
- 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する

薬剤名

- その他の苦痛軽減措置を施します

方法（具体的に）

- 人道的エンドポイント（Humane endpoint：実験動物を激しい苦痛から開放するために実験を打ち切るタイミング）を適用します

エンドポイントの判別方法 判断基準の一覧

(<https://drive.google.com/file/d/17uQiXFJXRnJLk5MXLejPLPmKbYs-F7U3/view?usp=sharing>)

- 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在しない

理由

- 長期間の保定・拘束が避けられない

理由

対処方法

(14) マウスの安楽死方法

(麻酔薬投与による深麻酔下で、採血や採材をする場合も記載する)

安楽死に対しての手技の習得をしましたか

- した
- しない

安楽死の方法

- 過剰量の麻酔薬の投与

薬物名

薬物名

- 炭酸ガス吸入

- 頸椎脱臼

- その他

(15) マウスの屍体の処分方法**所定の場所に安置する（その後火葬してもらいます）**

- はい
- いいえ

理由(いいえの場合の理由)

に対する苦痛軽減法等(追加入力1)**(16) カテゴリーの分類****実験動物の苦痛の程度はS C A Wが作成したカテゴリーのいずれに入るとと思いますか**

- A：生物個体を用いない実験あるいは植物、細菌、原虫、又は無脊椎動物を用いた実験
- B：脊椎動物を用いた研究で、動物に対してほとんど、あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験操作
- C：脊椎動物を用いた実験で、動物に対して軽微なストレスあるいは痛み（短時間持続する痛み）を伴う実験
- D：脊椎動物を用いた実験で、避けることのできない重度のストレスや痛みを伴う実験
- E：麻酔していない意識のある動物を用いて、動物が耐えることのできる最大の痛み、あるいはそれ以上の痛みを与えるような処置

[クリア](#)[下書き保存](#)[申請中止](#)[次へ](#)

動物実験分担者

分担者の入力

- ある
 なし

所属・職名

医学部



その他の場合御記入ください

教授



その他の場合御記入ください

氏名・連絡先

氏名を入力

内線を入力

e-mailを入力

動物実験の経験

- ある
 ない

動物実験講習会の受講

受講日

動物実験分担者(追加入力1)

動物実験分担者(追加入力2)

動物実験分担者(追加入力3)

動物実験分担者(追加入力4)

動物実験分担者(追加入力5)

動物実験分担者(追加入力6)

動物実験分担者(追加入力7)

動物実験分担者(追加入力8)

動物実験分担者(追加入力9)

動物実験分担者(追加入力10以降) ファイル添付

クリア

下書き保存

申請中止

申請